

中城村琉球史教材研究委託業務
に関する令和元年度事業報告書

「護佐丸」「中城城跡」を通して中城の歴史と文化を学ぶプロジェクト」は、平成24年6月から中城村教育委員会と共に構想を進めてきたものです。平成25年3月15日に平成24年度の第一期事業を終え、その後、平成26年3月28日、平成27年3月30日、平成28年3月10日、平成29年3月9日と都合、五期の事業に関わってきました。

平成28年度に実施されたアンケートでは、村内の学校関係者から中城村の歴史と文化の理解と興味関心に一定の理解が得られているとの意見が寄せられ、保護者からは、「素晴らしいもの」「子供が中城のことを教えてくれてうれしい」といった好意的な意見をいただきました。なにより保護者の8割以上が「継続してほしい」との意見を寄せています。

また、平成29年度には、平成26年度に発行した副読本類に、先生方の意見を反映させた改訂を加えて、平成30年度からは新しい副読本を用いた「中城ごさまる科」が実施されています。

本年度は、平成30年度から用いられている副読本と教師用指導書をもととして、副読本制作を経て入手した「中城ごさまる科」に関する情報や、そもそも「中城ごさまる科」を設定したときの事柄を踏まえて先生方へ情報の提供・共有のための教材研究会への参加と、教育課程の特例制度を利用した独自の教育課程の実施は、これまで3年に一度、文部科学省への実施報告書を提出が、毎年に変更されたことによる事業請負となります。

教師は、毎年、村外からの異動があり、その都度、ごさまる科の理解を始めることになるのは、やむを得ないことですが、毎年、児童の成果物には目を見張るものがあります。また、その児童の姿を見て、教師も楽しんでいるようにも見受けられます。

さらに、今年度は、ごさまる科実施時に1年生だった児童が6年生になり、さらなる成果物を期待しているところです。

また、平成28年度、29年度に続いて、児童の事後アンケート、教師アンケートも実施されたことから、改めて、中城ごさまる科の取り組みの検証ができるものと考えています。

中学校の護佐丸コースでは、第1回の教材研究会から聞き取った結果、中城の歴史、護佐丸、歴史の道など護佐丸コースで調べ学習をする際に使える中城中学校、護佐丸歴史資料図書館の蔵書などの蔵書一覧の作成も急遽行われました。これは、大変有意義な物と自負しております。

本事業を行いにあたって、中城村教育委員会稲嶺盛久主幹と調整を行い、教材研究会での情報提供が行うなど、無事、中城村琉球史教材研究委託業務を終えることができました。これを持ちまして、令和元年度の事業を全て完了したことになります。つきましては、令和元年度の事業報告書を作成し、3月4日には中城村教育委員会に提出することとします。

令和元年年3月4日

プロジェクト統括責任者

沖縄時事出版編集部部长 呉屋栄治

もくじ

巻頭言	1
中城ごさまる科第1回教材研究会	3
レジュメ	
提供資料	
中城ごさまる科第2回教材研究会	25
議事録	
提供資料	
取り組み状況報告	32
授業後アンケート	55
中城ごさまる科成果物	97
護佐丸コース	372
提供資料	
成果物	
資料編	461
業務日報	
予算(明細)	